

環境調査結果のお知らせ

令和8年7月3日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で10,600 cells/mL、カレニア・ミキモトイが最高で220 cells/mL、シャットネラ属が最高で1,800 cells/mL、ディクチオカ・フィブラが最高で1,000 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（100 cells/mL）を大きく上回っていますので、十分注意してください。また、ヘテロシグマ・アカシオ、カレニア・ミキモトイは注意基準値（5,000 及び 100 cells/mL）をそれぞれ上回っていますので、併せて注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	ディクチオカ・ フィブラ
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A 鳴無 (2m) 【09:43】	0	26.7	12.1	11.7	20	0	0	0
	1	26.4	25.2	13.9	800	10	6	0
	2	25.3	27.4	13.4	240	21	660	4
	5	24.7	29.0	3.2	0	140	880	0
	底層 9.5	24.2	30.6	0.2	0	0	15	4
B 中学校前 (2.3m) 【09:55】	0	25.3	8.8	10.2	2,700	0	1	0
	1	26.7	24.3	12.9	10,600	2	0	0
	2	25.5	26.9	14.0	80	12	840	4
	3	25.0	27.8	10.0	0	7	1,040	6
	4	24.8	28.2	6.5	0	200	1,020	6
	5	24.7	28.6	4.7	0	220	240	5
	7	24.6	29.6	2.4	0	86	114	3
	10	24.3	30.5	0.2	0	0	23	4
	底層 12	24.1	31.0	0.1	0	0	4	0
C 目ノクソ (2.1m) 【10:14】	0	26.2	15.5	10.7	0	0	0	0
	1	26.9	24.5	13.7	0	0	10	0
	2	25.9	26.5	16.3	0	4	880	600
	5	24.8	28.6	5.2	0	150	22	46
	10	24.4	30.3	1.6	0	0	1	0
	底層 15	24.1	31.1	0.1	0	0	0	0
D 光松 (3m) 【10:29】	0	26.8	19.0	12.3	0	0	2	0
	1	26.7	24.2	12.8	60	0	99	1
	2	25.4	27.1	13.1	0	13	1,520	1,000
	5	24.8	28.9	5.3	0	214	7	25
	10	24.4	30.4	2.7	0	0	1	0
	底層 16.5	24.0	31.3	0.1	0	0	0	0
E 大鹿 (2.4m) 【10:39】	0	27.3	22.6	12.0	0	0	0	1
	1	26.6	22.9	17.3	0	5	380	15
	2	25.4	23.4	13.4	0	5	1,800	47
	5	24.9	23.6	6.3	0	82	71	24
	10	24.4	23.7	3.2	0	3	5	0
	底層 16.5	24.0	24.6	0.1	0	0	0	0

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	ディクチオカ・ フィブラ
	(m)	(℃)		(mg/L)				
F 水試小割前 (4.1m) 【10:55】	0	26.6	19.2	11.1	0	0	0	1
	1	26.3	19.5	11.7	0	0	0	1
	2	25.5	20.3	11.4	3	7	37	80
	5	25.0	20.6	7.2	1	36	26	102
	底層 9	24.6	20.9	4.7	0	0	0	3

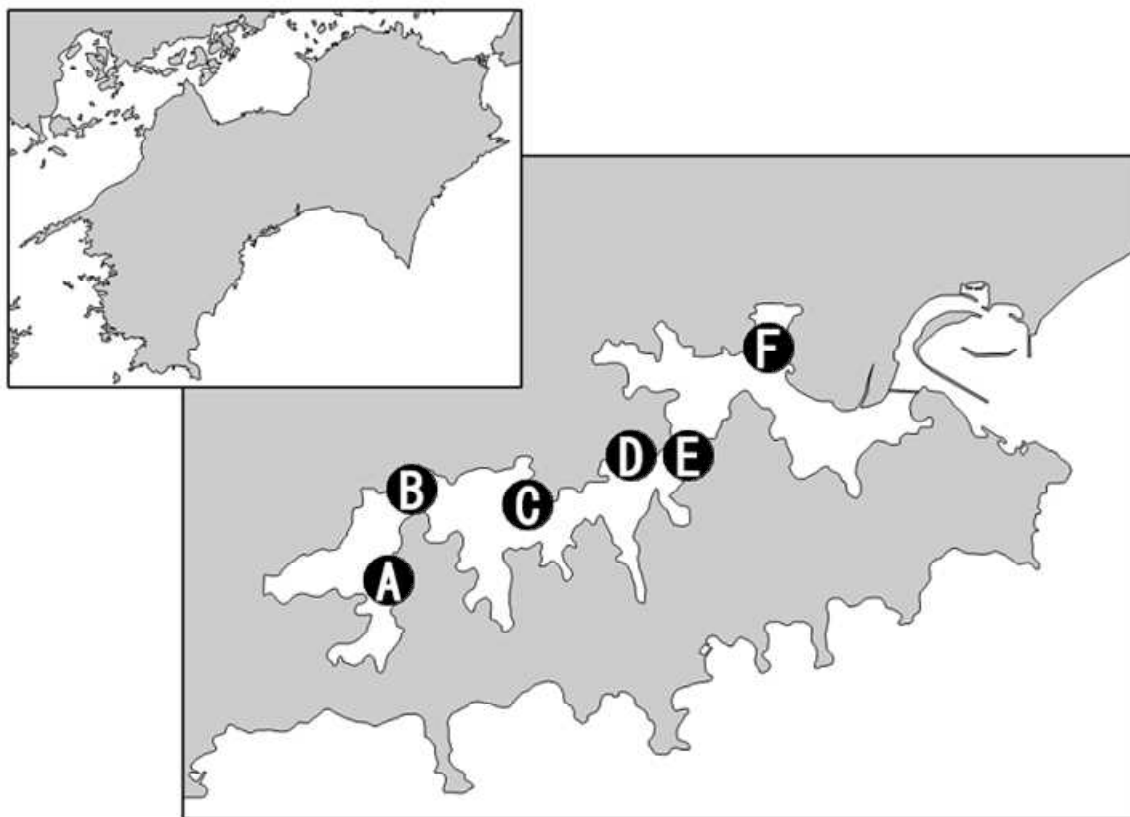
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
ヘテロシグマ・アカシオ	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

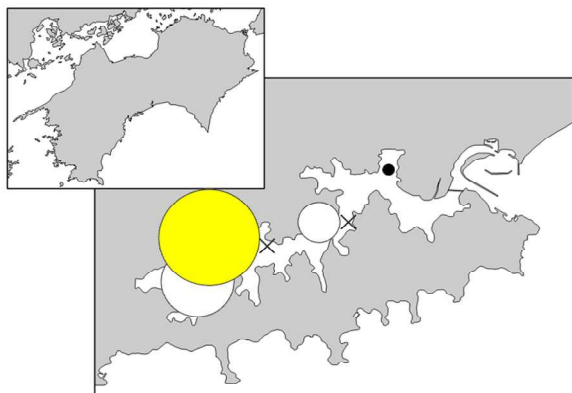
C: 目ノクソ

D: 光松

E: 大鹿

F: 水試小割前

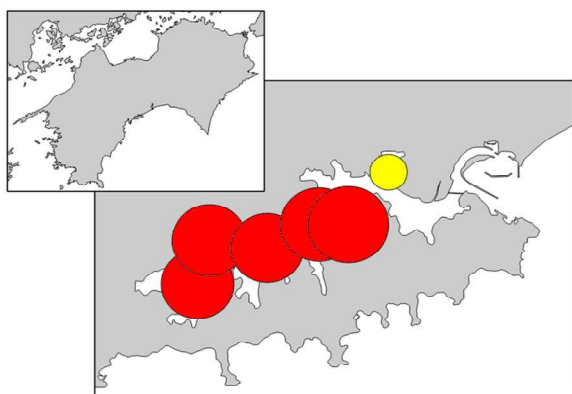
ヘテロシグマ・アカシオ
最大細胞密度



カレニア・ミキモトイ
最大細胞密度



シャットネラ属
最大細胞密度



ディクチオカ・フィブラ
最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0 1~9 10 100 1,000 10,000 100,000 300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

